

案内および申込書

硬膜外鎮痛法および脊髄くも膜下硬膜外併用鎮痛法を用いた無痛分娩

現在の診断名： _____

当院で2025年9月より無痛分娩（産痛緩和）を開始いたします。

麻酔担当医は当院常勤麻酔専門医が行います。

以下の内容に了承いただき、無痛分娩の希望する場合は申込書を提出してください。

ただし、申込書のご提出は無痛分娩を確約するものではありません。

- 無痛分娩（産痛緩和）を希望している。
- 対象は単胎妊娠、経産婦、分娩当日までに体格指数(Body Mass Index:体重[kg]/身長[m]²)が35未満、主治医が許可していること、以上全てを満たす妊婦を対象とすることを了承している。
- 当院での無痛分娩は硬膜外鎮痛法または脊髄くも膜下硬膜外併用鎮痛法であることを了承している。
- 術前検査および診察で6,510円が自己負担であることを了承している。
- 無痛分娩費用は10万円（非課税）で、硬膜外鎮痛法または脊髄くも膜下硬膜外併用鎮痛法における穿刺を施行した時点で料金が発生することを了承している。
- （基礎疾患等がない方）総分娩費用は約70万円（無痛分娩、誘導分娩の費用を含む）であることを了承している。
（基礎疾患等がある方）総分娩費用は入院・診療費一式に公的医療保険（3割負担等）が適用され所得区分に応じた自己負担限度額での支払いとなり、これに加えて保険適用外となる「無痛分娩費用（全額自己負担）」が別途合算されることに了承している。
- 計画分娩（分娩誘発）を行い、日曜日に入院することを了承している。
- 無痛分娩は月曜のみ施行可能であることを了承している。
- 1日1名のみで、申込みの先着順に行うことを了承している。
- 入院は妊娠36週6日以降で、正期産（妊娠37週0日～妊娠41週6日）の分娩に対して施行することを了承している。
- 陣痛促進剤を開始する条件を満たした場合に、陣痛促進剤の投与を行うことに了承している。
- 無痛分娩ではいきみが上手くできない場合があり、吸引分娩が必要になることを了承している。
- 月曜日の午後5時までに分娩が見込めない場合は、無痛分娩を終了することに了承している。
- 無痛分娩を開始しても、すべての痛みが取れるとは限らないことを了承している。
- 硬膜外鎮痛法またはくも膜下硬膜外併用鎮痛法を施行しても、効果が得られないことがあることを了承している。